令和６年度　高鍋町　**予防接種のしおり**

予防接種は、ウイルスや細菌によって引き起こされる病気(感染症)を予防するために、ワクチンを接種することで病気に対する抵抗力(免疫)をつけるものです。麻しんや百日せきなど、かつて多くの幼い命を奪ってきた恐ろしい病気から子どもたちが守られているのは、予防接種の普及によるものです。予防接種には、予防接種法によって対象疾病、対象者及び接種期間などが定められた**定期接種**と、それ以外の**任意接種**があります。

【定期接種】 予防接種法に基づき接種が勧められています。必要性や副反応について十分に理解した上で接種を進めていきましょう。
公費負担のため、接種費用は無料です。

予防接種名		ワクチン種類	対象年齢（接種が望ましい時期）	接種方法
ロタウイルス	1 価	◆	生後 6～24 週まで	4 週間以上の間隔で 2 回
	5 価		生後 6～32 週まで	4 週間以上の間隔で 3 回
B型肝炎		●	生後 2 か月～1 歳未満 （生後 2～8 か月）	27 日以上の間隔をおいて 2 回　さらに 1 回目の接種から 139 日以上の間隔(20 週経過後)をおいて 1 回 （計 3 回）
小児用肺炎球菌		●	生後 2 か月～5 歳未満 （初回接種開始時期:生後 2 か月～6 か月 追加:1 歳～1 歳 2 か月）	・開始時期が生後 2～6 か月の場合 初回: 27 日以上の間隔で 3 回 追加: 初回終了後、60 日以上の間隔をあけて 1 回(1 歳以降) ・開始時期が生後 7～11 か月の場合: 初回 2 回、1 歳以降に初回の 2 回目から 60 日以上経過後、追加 1 回 ・開始時期が 1 歳～2 歳未満の場合: 60 日以上の間隔をあけて 2 回 ・開始時期が 2 歳～5 歳未満の場合: 1 回のみ
ヒブ （インフルエンザ菌b型）		●	生後 2 か月～5 歳未満 （初回接種開始時期:生後 2 か月～6 か月 追加:初回終了後、7～13 月までの間隔をおく）	・開始時期が生後 2～6 か月の場合 初回: 27 日(医師が認める場合は 20 日)～56 日までの間隔で 3 回 追加: 初回終了後、7～13 月までの間隔で 1 回 ・開始時期が生後 7～11 か月の場合: 初回 2 回、追加 1 回 ・開始時期が 1 歳～5 歳未満の場合: 1 回のみ
4 種混合 （ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ） または **5 種混合**(4 種混合＋ヒブ)		●	**1 期**　生後 2 か月～7 歳 6 か月未満 （初回: 生後 2～11 か月 追加: 初回終了後 12～18 か月後）	**1 期**　初回: 20 日～56 日(3～8 週間)の間隔で 3 回 追加: 初回終了後、おおむね 1 年後に 1 回
			2 期　11 歳、12 歳 （11 歳）	**2 期**　1 回　※2 種混合(ジフテリア、破傷風)を使用
BCG(結核)		◆	1 歳未満 （生後 5～8 か月 ）	1 回
麻しん(はしか)・ **風しん混合**(MR)		◆	**1 期**　1 歳～2 歳未満	1 回　※1 歳になったらできるだけ早く受けましょう。
			2 期　5 歳以上 7 歳未満(小学校入学前の 1 年間)	1 回
水痘(水ぼうそう)		◆	1 歳～3 歳未満 （水ぼうそうにかかったことがある方は対象外）	3 か月以上の間隔をおいて 2 回 (2 回目は 1 回目接種後 6 月から 12 月まで経過した時期)
日本脳炎　※①		●	**1 期**　生後 6 か月～7 歳 6 か月未満 （初回:3 歳　追加:4 歳）	**1 期**　初回: 6 日～28 日(1～4 週間)の間隔で 2 回 追加: 初回終了後、6 月以上おおむね 1 年の間隔をおいて 1 回
			2 期　9 歳～13 歳未満 （9 歳）	**2 期**　1 回
ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症 （子宮頸がん予防ワクチン）		●	小学校 6 年生～高校 1 年生相当の女子 （ 中学 1 年生の間 ） キャッチアップ対象:平成 9 年度～平成 19 年度生まれの女子 ※②	2 価 4 価：3 回 （1 回目を接種して 1 または 2 か月後に 2 回目、1 回目から 6 か月後に 3 回目を接種） ※ワクチンにより 2 回目の間隔が異なります。 9 価：2 回または 3 回 （1 回目接種が 15 歳未満の場合:2 回接種 1 回目接種が 15 歳以上の場合:3 回接種）

※令和 6 年度以降、初めて接種する方は、主に 5 種混合に含まれます

ワクチン種類
◆生ワクチン…生きた細菌やウイルスの毒性(病原性)を弱めたもの
●不活化ワクチン…細菌やウイルスを殺し抵抗力(免疫)をつくるのに必要な成分を使って毒性(病原性)をなくしてつくったもの

【任意接種】 定期接種以外の予防接種で、重症化予防を目的として本人又は保護者の希望により接種するものです。高鍋町では、下記の予防接種費用に対して一部助成があります。

予防接種名	ワクチン種類	対象年齢	回数	助成金額
おたふくかぜ （流行性耳下腺炎） ※かかったことがある方は対象外	◆	1～2 歳未満	1 回	3,000 円
		年長児 （小学校入学前の 1 年間）	1 回	3,000 円
3 種混合 （ジフテリア・百日せき・破傷風）	●	年長児 （小学校入学前の 1 年間） ※4 種混合の第 1 期追加接種から 6 か月以上あける	1 回	2,500 円
季節性インフルエンザ （10 月～2 月）　※③	●	生後 6 か月～中学生	1 回	1,500 円

※①日本脳炎の特例措置…
平成 7 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日に生まれ第 1 期、第 2 期の接種を受けられなかった人は、20 歳未満であれば、定期接種として接種可能。

※②ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンのキャッチアップ接種…
平成 9 年度～平成 19 年度生まれの女子は、令和 6 年度末（令和 7 年 3 月）まで定期接種(無料)として受けることができます。3 回目までを無料で完了させるためには、令和 6 年 9 月までに 1 回目の接種を開始する必要があります。

※③季節性インフルエンザ実施医療機関等詳細…
令和 6 年 9 月頃にお知らせたかなべや町ホームページ等でお知らせします。

予防接種ができる医療機関は、裏面の「高鍋町内予防接種実施医療機関一覧」をご覧ください。
◆全て個別接種
◆必ず実施医療機関に事前に要予約

裏面へ

令和６年度　高鍋町内予防接種実施医療機関一覧

※全て事前予約が必要です

医療機関名 TEL	接種曜日・時間	定期接種							任意接種	
		ロタウイルス	B 型肝炎、4 種(2 種)混合、MR(麻しん風しん)、水痘、日本脳炎	5 種混合	Hib(ヒブ)	小児用肺炎球菌	BCG	ヒトパピローマウイルス(HPV)	おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)	3 種混合
たかやま小児科 **0983-23-4423**	月・火・水・金・土　14:00～15:00 ※診療時間内は対応可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おりたこどもクリニック **0983-32-5522**	月・火・木・金　13:30～14:30 水・土　12:00～13:00　※診療時間内は対応可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永友慶子小児科 **0983-23-1082**	月・火・水・金　9:30～11:30、14:30～17：00 木・土　9:30～11:30	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大森内科医院 **0983-22-0055**	月・火・木・金　8:30～12:00、14:00～17:30 水・土　8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	×
永友胃腸科内科医院 **0983-22-3320**	月・火・木・金　9:00～11:30、14:00～17:30 水・土　9:00～11:30	×	○	×	○ ※4 回目のみ	○ ※4 回目のみ	×	×	○	○
坂田病院 **0983-22-3426**	月・火・木・金　8:30～11:30、13:30～17:30 水・土　8:30～11:30　※3 日前までに要予約	×	×	×	×	×	×	○	×	×
河野産科婦人科医院 **0983-22-0341**	月・火・木・金　9:00～12:00、14:00～17:00 水・土　9:00～12:00　※3 日前までに要予約	×	×	×	×	×	×	○	×	×

予防接種についてのお問合せ・ご相談
イワケン健康づくりセンター（高鍋町健康づくりセンター）
TEL:0983-23-2323　FAX:0983-23-2344

◆町外で定期接種を受ける場合

宮崎県医師会に加入している医療機関であれば、町内の予防接種実施医療機関と同様に無料で接種することができます。希望する場合は、イワケン健康づくりセンターで発行した予診票を事前に受け取って、医療機関にご持参ください。

◆県外で定期接種を受ける場合

里帰りやその他の事情等により、県外で定期接種を受ける場合は、予防接種費用の全額を個人でお支払いいただき、後日、予防接種に要した費用(上限有り)をお振込いたします。→償還払と言います。

償還払を受けるためには、申請が必要となりますので、予防接種を受ける前に必ずイワケン健康づくりセンターにご相談ください。

予防接種を受ける前に

1 対象者：高鍋町在住の各予防接種の対象年齢の子ども（児童生徒）
　対象年齢を 1 日でも過ぎたり、満たさない場合は対象外です。
2 必ず実施医療機関に予約しましょう。（電話で可）
3 接種予定の予防接種についての必要性や副反応をよく理解しておきましょう。
　必ず、赤ちゃん訪問時にお渡しした冊子『予防接種と子どもの健康』を読んでから接種するようにしてください。　→冊子を持っていない方は、イワケン健康づくりセンターでお渡しします。
4 母子健康手帳を必ず持っていきましょう。
5 接種する子どもの日ごろの状態をよく知っている保護者の方が連れていきましょう。
　※やむを得ない理由により保護者が同伴できない場合
　接種する子どもの健康状態をよく知っている親族など(祖父母等)が同伴し、予防接種を受けることも可能です。ただし、その場合は、委任状の記入が必要になりますので、事前に実施医療機関又はイワケン健康づくりセンターにて予診票を受け取り、あらかじめ保護者が記入した予診票を持参して接種してください。
6 予防接種は、お子様の体調が良いときに受けましょう。
　当日は、朝から子どもの状態をよく観察し、普段と変わったところのないことを確認しましょう。
　体温は接種前に測りますが、自宅でも熱がないのを確認してから受けにいきましょう。
　※熱が 37.5℃以上ある場合は接種できません。
7 1 か月以内にかかった病気によっては、一定の間隔をあけないと接種できない場合があります。
　（例：麻しん、おたふくかぜ、水ぼうそうなどは治ってから 4 週間は接種できません。）

※予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種に同意したときに限り、接種が行われます。

予防接種を受けた後に

1 予防接種を受けたあと 30 分間程度は、急な副反応が起こることがあります。
　接種した医療機関で子どもの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
2 接種後、生ワクチンでは 4 週間、不活化ワクチンでは 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
3 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
4 接種当日はいつもどおりの生活をしましょう。ただし、激しい運動は避けてください。

厚生労働省ホームページ

高鍋町ホームページ

異なる種類のワクチン接種する場合の間隔

【注射生ワクチン】
（定期）BCG、MR（麻しん風しん）、水痘
（任意）おたふくかぜ

→ 接種間隔 27 日以上おく → 【注射生ワクチン】

→ 間隔の規定なし → 【経口生ワクチン】【不活化ワクチン】

【経口生ワクチン】
（定期）ロタウイルス

【不活化ワクチン】
（定期）B 型肝炎、Hib、小児用肺炎球菌、5 種混合、4 種混合、日本脳炎、HPV
（任意）3 種混合、季節性インフルエンザ

→ 間隔の規定なし → 【注射生ワクチン】【経口生ワクチン】【不活化ワクチン】

※詳細は、かかりつけ医等医療機関に相談の上、接種を受けてください。

Takanabe